HP

日本離床学会
教育講座

日本離床学会離床教育基礎プログラムI

実践！早期離床

～急性期から在宅まで一歩進んだ離床の考え方と臨床の視点～

日時：2020年
6月21日(日)
10:00～16:10

場　所：インターネット生ライヴ中継
対　象：若手のPT・OT・ST（自称・他称問わず）／看護師
後輩・他職種への指導のコツを学びたい医療スタッフ（左記以外も受講可）
講　師：曷川 元 先生（日本離床研究会）
受講料：一般 9,800円（税込）　会員 8,800円（税込）
※先着順：定員になり次第、締め切りとなります

難易度 ★★☆☆☆
講座コード K-4

若手・新人必修講座

実際の臨床での動き方も動画でしっかり詳説

エビデンスに裏付けされた理論を学んで一歩進んだケア・アプローチを目指そう

一見、安定してみえる患者さん。でも、生半可な判断で起こすのはかえって危険です。いつもの通り動かした結果、予期せぬ急変を招くことも・・こうしたアクシデントを防ぐためには、豊富な知識と多角的な視点が必要です。この講座では、ICUから在宅まで絶対知っておくべき知識を網羅。自分がメインとする病期だけでなく、患者さんの回復を流れで学んで“今”あなたが行うべきアプローチを提案します。さあ、あなたも「根拠ある治療」としての離床を学んで、周りのスタッフより一歩リードしてみませんか？

欧米の最新知識とベテランの“経験知”を融合させた集中プログラム
～起きたまま行う呼吸ケアとしての離床を学ぶ～

Lesson 1 早期離床の最新エビデンスと基本コンセプト
～なぜ今、離床が必要なのか～

Lesson 2 離床を成功に導くための患者アセスメント

◎呼吸のアセスメント ～おさえておくべき触診・聴診のポイント～
◎循環機能の基礎評価と合併症（起立性低血圧・DVT）対策
◎せん妄予防の具体策
～挿管患者に対する早期介入を実現するための鎮静管理～
◎運動機能を簡易に把握するためのスクリーニングテスト
◎いつもは出ていない“むくみ”が出ている！
その時必要な評価と原因特定法
◎この利用者さんどのくらい動けているのか？在宅における離床量の測り方

Lesson 3 症例を通して学ぶ離床可否の判断

◎離床基準の決め方とステップアッププログラムの構築法
◎「呼吸が悪ければまず体位変換から」という常識を考え直そう
～体位変換／徒手的呼吸介助のエビデンスと臨床での活用法～
◎早期ADL向上を目的とした急性期作業療法の行い方
◎在宅でも他人事ではない！重症患者特有の筋力低下ICU-AWとその対策
◎臨床における動作介助のポイント ～動画から学ぶ離床の留意点～
◎離床の頻度が落ちてしまった！マンパワー不足に陥った時に考えるべきこと
◎利用者さんの“揉んでほしい”という要望にどう応えますか
～離床を継続してもらう秘策と家族の巻き込み方～
◎興味・関心チェックシートを用いた能動的な離床成功法

ICU → 急性期 → 回復期 → 在宅

施設長・技術長の皆様

これから10年必要となるコンセプトを徹底して学ぶ貴重な機会となります。是非、一人でも多くのセラピストの出席にご配慮ください。

講師よりメッセージ

離床と聞くと「なんとなく良いもの」という感じを受けると思いますが、この数年で次々とエビデンスが明らかとなり「根拠ある治療」に変わりました。こうした最新知識に加えて、我々ベテランの臨床経験を交え、まさに今必要なコンセプトを皆さんに伝えます。初めて講座を受ける方でも大丈夫。楽しく、眠くならない講義を約束します。さあ、一緒に学びましょう！

※この講座は、アドバイザー取得コースの理論系・実技系計2単位を取得することができます。

受講方法

① ホームページよりオンライン登録
② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会　検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレルビル2F
ホームページ https://www.rishou.org/
TEL 03-3556-5585　FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org